

平成27年 5月  
231号

事務局 〒930-0096 富山市舟橋北町7番1号  
富山県教育文化会館内 電話(076)441-8401



表紙絵 齊藤清策  
題字 中田大智



## 『恐怖の報酬』の報酬

(一社)富山県芸術文化協会

会長 吉田 泉

今年のゴールデンウィークは横浜の陋屋で過ごしている。古いマンションの一階部分で70平米ほどしかないが、小さな庭がついている。私がおこでの定住を終えて富山にUターンしたのは18年前。この住居で多くのNHKテレビ用の映画字幕の翻訳をやった記憶が蘇る。昭和60年ごろから10年以上はやったと思うが、当時第一日曜日に放映していた「世界名画劇場」という番組だった。駒場の時のクラス担任であった青柳晃一先生が、卒業したあとにもフランス語で身を立って行く弟子の行く末を心配されて先生ご自身の同級生であるNHKのFプロデューサーに紹介して下さって、この仕事を始めるようになった。



©1951-TP1 INTERNATIONAL-PATHE REINN PRODUCTIONS-  
VERA FILM MARCEAU CONCORDIA- GENERAL PRODUCTIONS

最初のフランス映画は『巴里の空の下セーヌは流れる』だった。ほかに憧れの『太陽がいっぱい』『死刑台のエレベーター』も字幕をやった。元々映画が大好きだったので、映画が見られる上に自分の字幕が全国に流れるのか、と思うと無我夢中になってやった。しかしすぐ担当のディレクターに釘を刺された、「文学的表現は使わなくていいんだよ」と。だがディレクターの方々には教えてもらうことがたくさんあった。ひたすら表現を凝縮する訓練が続き、また大いに日本語の勉強にもなったことは深く感謝しなければならぬ。「芸は身を助く」ではな

いが、帰郷して小泉博さんの知己を得て、この「芸」を生かして2000年「とやま世界こども演劇祭」ではオーバードホールでドラマティック・ダンス『北の鳥と南の鳥』に英仏語で字幕を出す仕事に協力し、諸外国のお客様を瞠目させた。これが芸文協と私との、そもそもの「なれ初め」だった。2004年にはハンガリーのプレイヤーズ・スタジオ・デブレツェンの『夜の来訪者』に、また2013年にもハンガリーのグリフ人形劇団の『三年寝太郎』に日本語字幕を出して観客の方々に大いに楽しんでいただいた。

『恐怖の報酬』も忘れ難い。前述のFプロデューサーのご好意で破格の翻訳料を頂いたことも覚えている。ヴェネズエラの山奥の油田火災の消火のために四人の食いつぶされた男たちがトラックにニトログリセリンを積んで恐怖に戦きながら山あり谷ありの悪路を進む話だ。この稿を起すにあたって『恐怖の報酬』のスチール写真を載せたいと思いい、版權を探したら紀伊國屋書店からDVDレンタル化されていることが分かった。同書店のかたと連絡をやり取りしていると、何とこのDVDはいまだに私の字幕版であった。ぜひ購入したいと申し出たら無料で送って下って嬉しかった。DVDで見ると同じ映画とは思えない鮮明さと迫力だ。これこそ何十年ぶりかでもう一度いただいた『恐怖の報酬』の報酬であろう。

平成27年度  
**雷鳥会総会**  
 平成27年 4月20日(月)

◇総会



稲葉会長から「昨年は40周年の節目として、素晴らし

**記念講演**  
 演題 言論人・井上江花に学ぶ  
 —富山の新聞いまむかし—  
 講師 元北日本新聞社 編集局長 河田 稔氏

た。次に議事に移り、平成26年度事業及び決算と監査報告があった。

続いて平成27年度役員及び運営委員・事業計画及び予算が提案され、全会一致で可決された。

◇記念講演(要旨)

しい年にしていただき感謝します。今後、会員増を求めていく手だての一つとして、雷鳥会4支部会員が一堂に顔を合わせるような工夫を!!との挨拶があった。

富山に新聞が誕生してから百三十一年の月日を経た。新聞に携わった多くの人たちが。そのなかで井上江花という人物に着目したい。



明治四年金沢で旧加賀藩主の子として生まれた江花。本名・井上忠雄。明治三十三年(一九〇〇)北日本新聞の前身である「高岡新報」に入り、のちに主筆(編集の最高責任者)を務める。昭和二年死去するまで一貫して記者、主筆としてずっと富山で活躍した人物である。

秋・山眠る冬」と自然の一年の変化は同じサイクルのように見えるが螺旋形のように少しずつ変化し成長している。県民カレッジ27年目にあたり「不易流行」を心に生涯学習の充実を!!と激励があった。その後新任職員の紹介があつ

江花の大きな業績のひとつは「米騒動」である。大正七年夏、高岡新報は「女軍 米屋にせまる」と都会紙にも配

信した。米騒動が全国に波及するきっかけとなった。警察部長から名指しで批判を受け、江花は紙面で反論し、米騒動の本質を伝え続け、権力に屈しないジャーナリストとしての一面を示した。「ぼんどり騒動」の記録も才気に満ちている。騒動から三十五年経て、古老たちから、こまめに聞き取りを行った。コピーのない時代、筆記の労力も並大抵ではなかっただろう。全体像をはっきりと捉えたすばらしい記録である。

明治四十二年七月、江花は黒部峡谷を探検している。秘境に写真家を連れ立っての八日間を連載した。当時としては山岳ルポルタージュの先駆的文献として評価される。郷土に対する思いの強さは論説にも表れている。海より見たる越中「山より見たる越中」「川より見たる越中」の三部作は、総合的な郷土論である。県民性にも関心をもち、「県人氣質論」を十九回連載している。通説にとらわれない見方は今読んでも新鮮である。

そして、江花は常に紙面改革を心がけた。当時の新聞は文字中心であったが、江花は積極的に紙面に写真を挿入した。読むだけでなく見る新聞を目指したのである。いち早く社員に写真製版技術を学ばせた。論説も、誰にでも読みやすい平易な文体(通俗論説)を掲げ工夫した。

江花の人脈は多彩で、晩年には、支援する人たちによって「江花会」ができたほどである。



「江花会」の世話人廣瀬喜太郎(教育者)は、江花を評し「翁(江花)の本領とは何であるか。一言にして言え

ば、徹頭徹尾、新聞記者であった事である。…」と。

時代によって新聞事情は変わるが、ジャーナリズムの基本(好奇心・挑戦 記録し伝える)は変わらない」と、まとめられた。静かな口調のなかに熱いものがほとばしる講演であった。(政 記)

平成二十七年年度  
**雷鳥会事業計画**

◇会 議

総会(年一回)・理事会(二回)  
 企画委員会(三回)  
 運営委員会(四回)・部会(二十回)

◇事 業

・日帰りセミナー  
 六月十七日(水)  
 金沢の珍しいミュージアムめぐり

・雷鳥会セミナー 一泊二日  
 七月五日(日)～六日(月)  
 東濃の歴史と恵那峡をめぐる旅  
 ・企業訪問(富山市内)  
 八月十九日(水)

・県民カレッジ連携講座  
 演題 「21世紀講座」  
 「新とやま土木物語PART II」  
 講師 (株)オオバ 特別顧問  
 白 井 芳 樹 氏

・学遊祭 十月三日(出)  
 展示並びにお茶席 その他  
 ・トーク&トーク一月予定  
 講師 富山市民俗民芸村  
 売薬資料館 学芸員  
 兼 子 心 氏

◇広 報  
 ・会報「雷鳥」年間五回発行  
 ※詳細はその都度会報にてお知らせします。

平成26年度 収支決算書 (平成26年4月～平成27年3月)

○一般会計

Table with 5 columns: 収入の部 (増減=予算との比較、単位:円), 費目, 26年度予算額, 26年度決算額, 増減, 摘要. Rows include 会費, 事業参加費, 助成金, 雑収入, 繰越金, and 合計.

Summary table with 3 columns: 総収入額 (1,908,561), 総支出額 (1,648,279), 次年度繰越額 (260,282).

Table with 5 columns: 支出の部, 費目, 26年度予算額, 26年度決算額, 増減, 摘要. Rows include 1 事業費, 2 運営費, 3 予備費, and 合計.

○特別会計

四十周年記念事業

1,640,665円-1,596,309円=44,356円
残金は平成27年度特別会計に繰り越す。

平成27年度 収支予算書 (平成27年4月～平成28年3月)

○一般会計

Table with 5 columns: 収入の部 (△:前年度との比較減、単位:円), 費目, 26年度予算額, 27年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 会費, 事業参加費, 助成金, 雑収入, 繰越金, and 合計.

Table with 5 columns: 支出の部 (△:前年度との比較減、単位:円), 費目, 26年度予算額, 27年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 1 事業費, 2 運営費, 3 予備費, and 合計.

○特別会計 (特別記念事業基金) 100,000円

Organizational chart for 平成二十七年 雷鳥会. Lists roles like 顧問 (中尾 哲雄), 会長 (稲葉 實), 副会長 (久郷 慎治), 理事 (久郷 久晴, 藤井 哲夫, 若林 忠嗣), 監事 (松井 和子, 遠藤 敦子), 運営委員 (伊藤勢津子), 副委員長 (岡岸 喜義), 事業部長 (山田壽美子), and various department heads.



## お知らせ みんなで楽しみましょう!!

## ★日帰りセミナー

1 期 日 平成27年6月17日(水) 2 募集人員 30名 3 参加費 11,000円(当日集金)

行 程	7:00発	8:00着～8:10発	8:30	8:55発	9:00～9:10	
	魚津市・新川文化ホール(南側駐車場)——富山駅北口(乗車)——富山IC——砺波IC(乗車)——小矢部SA——					
	9:25	9:50～10:40		10:50～11:40		
	——金沢森本IC——金沢市【中村記念美術館】……徒歩……金沢市【金沢ふるさと偉人館】——					
	11:50～昼食～12:50			12:55～14:00		
	——【石川県政記念しいのき迎賓館(2階ジャルダンボール・ボキユーズ)……徒歩……【石川四高記念文化交流館】——					
	14:20	14:35～14:50	14:55頃着	15:20	15:40頃着	16:30頃着
	——金沢森本IC——小矢部SA——砺波IC——富山IC——富山駅北口——新川文化ホール(駐車場)					

## ★雷鳥セミナー

1 期 日 平成27年7月5日(日)～6日(月) 2 募集人員 30名 3 参加費 35,000円(当日集金)

行 程	第一日 目	6:30発	7:30発	7:50	8:10発	朝食 ×	
		新川文化ホール(南側駐車場)——富山駅北口(乗車)——富山IC——砺波IC(乗車)——小矢部砺波JCT——					
		8:25～8:35	9:30～9:45	10:40～10:50	11:20	昼食 ○	
		——城端SA——ひるがの高原SA——美濃関JCT——美濃加茂SA——土岐JCT——恵那IC——					
		11:30～12:20	12:35～13:20	13:45～案内人付～14:40		夕食 ○	
		——恵那市【山菜園(昼食)】——恵那市【中山道広重美術館】——岩村町【岩村城下町(重要伝統的建造物保存地区散策)】——					
		14:45～案内人付～16:10	16:50	17:05	17:20頃着	朝食 ○	
		——【岩村歴史資料館・岩村城(日本三大山城・日本百名城)】——中津川IC——園原IC——南信州昼神温泉郷(泊)					
	第二日 目	8:30発	8:45	9:05	9:30～日本初のダム式発電所～10:10	10:25	朝食 ○
		昼神温泉郷(湯元ホテル阿智川)——園原IC——恵那IC——【恵那峡遊覧船にて恵那峡めぐり】——恵那IC——					
		10:55	11:05～12:00		12:10～13:00	昼食 ○	
		——多治見IC——【虎溪山永保寺(国宝観音堂・国宝開山堂・国指定名勝庭)】——【たじみ創造館前(松正にて昼食)】……					
		13:00～14:00	14:10	15:20～15:35		夕食 ×	
		……【本町オリベストリートはなやぎのまち(美濃焼の文化)】——土岐南多治見IC——ひるがの高原SA——					
		16:35～16:45	17:00頃着	17:30	17:50頃着	18:50頃着	
		——城端SA——砺波IC——富山IC——富山駅北口——新川文化ホール					

※宿泊ホテル 湯元ホテル阿智川 長野県下伊那郡阿智里503-115 ☎0265-43-2800

## ★企業訪問

1 期 日 平成27年8月19日(水) 2 募集人員 40名 3 参加費 5,000円(当日集金)

行 程	9:30発	10:00～12:00	12:10～13:10
	富山駅北口(集合)——【富山県広域消防防災センター四季防災館】——【源ますのすしミュージアム(昼食)】——		
	13:30～15:30	16:10頃着	
	——富山市(朝日印刷株式会社富山工場)——富山駅北口(解散)		

※21世紀講座(9月～10月・3回)と各支部活動(5月～10月)を予定しています。


たくさんのご参加をお待ちしています。

詳細は後日、広報「雷鳥」にてお知らせします。

問い合わせ 雷鳥会事務局へ ☎076-441-8401 FAX076-441-6157

## \* 平成27年度 県民カレッジ夏季講座のお知らせ \*

富山県教育文化会館 ※開場は開始時刻の30分前です。

日時	講師	演題	講師紹介等
7月11日(土) 14:30～16:00	 脚本家 内館 牧子氏	「大相撲の文化史」	公益財団法人日本相撲協会元横綱審議委員。 代表作にNHKの朝の連続テレビ小説「ひらり」、 大河ドラマ「毛利元就」。 新書「女はなぜ土俵に上がれないのか」など。

受講申込受付 6月1日(月)から(先着順)600名

申込方法 〈窓口受付〉県民カレッジ本部 他富山・高岡・新川・砺波地区センター  
〈郵送受付〉県民カレッジ本部のみ問合せ先 県民カレッジ本部(県教育文化会館内) 〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 ☎076-441-8401  
(火曜日休所)

※ なお、雷鳥会員には夏季講座受講票引換券を同封しました。雷鳥会事務局にて引き換えてください。